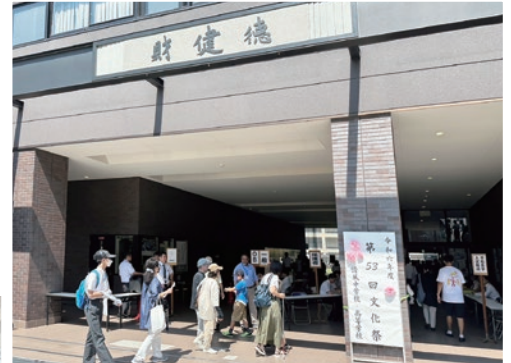


## 9月 文化祭が開催されました！ 清風岩峯会もブース出展しました

9月7日(土) 清風学園文化祭が開催されました。清風岩峯会は今年もブース出展を行い、OBの皆様に学生時代を懐かしんでもらい、同窓会の活動をアピールしました。OBによる「清風の思い出と歴史を語る会」も開催しました。お立ち寄りいただいた卒業生をはじめ在校生と保護者の皆様ありがとうございました。



## 10月 高校・中学の体育祭が開催！

10月1日(火) 金岡陸上競技場にて清風学園高校体育祭が開催されました。清風岩峯会役員も会場へ応援に駆けつけ、在校生の競技を観戦しました。暑さが残る中で、若さと熱気あふれる競技でした！



また9月17(火)には京セラドームにて中学校体育祭も開催されました。

## Relay Talk ③

### 「私のしあわせグルメ」

### 清風魂を教えるエネルギー 木村屋さんのピロマヨ

リレートークでは、先生方や事務員の方などさまざまな清風学園を支える皆様にテーマに沿った寄稿をしていただき、次の寄稿者を紹介、リレーを繋ぐ企画です。

### 第3回ゲスト

吉田 和史 先生 担当教科：体育



清風学園に奉職して40年の年月が過ぎ、私自身卒業生でもありおよそ半世紀を母校である清風学園で過ごしてきました。今回「私のしあわせグルメ」というテーマでお話をいただき、すぐに思いついたのが、木村屋さんのピロマヨでした。

学校付近のたくさんあった飲食店も入れ代わり立ち代わりで変わっていく中、昔ながらの場所で今も営業されているのが木村屋さんです。私たちが、学生の頃にお世話になった「木村屋のおばちゃん」は残念ながらもうお亡くなりになりましたが、現在はご子息夫婦で日々営業されています。

この木村屋さんのピロマヨは、私だけでなく数々の卒業生に、清風を心の底からよみがえらせる一品です。私は、今もよくいただき、日々子供たちに清風魂を教えるエネルギーをもらっています。今日もおいしくいただきました～。



吉田先生より「私のしあわせグルメ」というテーマでご寄稿いただきました。次回のテーマは「私のストレス解消法」です。バトンを受け取った方の寄稿をお楽しみに。

## Interview 体操競技部 梅本監督に聞く 世界の頂を目指す努力

創部70年、オリンピック選手を輩出し清風の名を世界に轟かせる体操競技部。トップを走り続け、さらに新校舎竣工とともに充実した器具設備を誇ります。体操部を率いる監督の中学・高校体育科部長梅本英貴先生に話を聞きました。

——体操競技部の歴史をお聞かせください。

梅本 私も聞いた話なのですが、初代監督は英信先生でした。「学校で体操部を作ってほしい」と要望があり、何もないグラウンドに鉄棒だけ作りましたが、公園にあるような鉄棒だったため競技向けの器具を少しずつそろえていき、生徒も何人か体操部へ入部してスタートしました。次の監督は日体大卒で元々はサッカーをされていた体育の先生でした。その後、清風の体操部に居られた山口彦則先生が大学まで行かれて監督として戻って来られました。次に現顧問の吉田和史先生、そして私が5代目の監督になります。創部から70年近くになるのではないのでしょうか。

——清風学園＝体操部の歴史と言ってもいいほど長い歴史があるのですね。今は全国的に有名になりましたが、どういふステップで今の体操競技部が出来上がりましたか。

梅本 スタート時、岩峯先生（校祖）に「5年で大阪一、10年で近畿一、15年で日本一、20年目でオリンピック、この5年計画でやりなさい」と言われたと聞いています。15年目で初めて監物永三先生がメキシコシティオリンピックに出場されま



本館の体操競技部練習場所には多くの体操器具設備があり「清風魂」額と数々のトロフィー、歴々OBの写真を掲げる

した。オリンピック選手輩出校となりましたが、国内ではまだそれほど勝てません。インターハイでは、ロサンゼルスオリンピック個人総合チャンピオンの具志堅幸司先生が初優勝して2連勝したものの、次に池谷幸雄さんと西川大輔さんが日本一を取るまで勝てない時期が続きました。池谷さんと西川さんが3連覇し、次の代になって4連覇して以降、勝つことが宿命になりました。1位を目指すというよりも1位を取らなければいけないというクラブに変わりました。オリンピックに関しても出場が途切れはしましたが、50年以上も日本のトップを走り続けているクラブになりました。

——先の東京オリンピックで北園丈流選手と共にコーチとして参加された感想をお聞かせください。

梅本 以前は協会から大学や社会人クラブの先生がコーチに指名され、ジュニア指導の先生は入れませんでした。東京オリンピックでは私もコーチに入ることができ、たぶん高校教師としては初のオリンピックコーチとなりました。夢の舞台でしたが、北園君の一番の目標は高校生でオリンピックに出場することで、小さい頃から夢を持って頑張ってきたのに、コロナで中止・延期になり、結果的に大学1年生で行くことになりました。直前の大

## 人間力育み応援を力に

——今後の目標をお聞かせください。

梅本 練習は指導者が言ってやるものではありませんし、それでは高みにたどり着きません。私たちにできることは、技術的指導とともに「子どもたちにどういふ夢を持たせるのか、どうやったら導いていけるか、やる気になるのか、エネルギーをどう引き出すのか。子どもたちには無限の可能性があるので、われわれはその子たちの限界を決めてはいけません」と代々監督の先生から言われてきました。体操で日本、さらに世界のトップを目指し続けること、これが子どもたちにとって大きな夢となります。夢を持ち続けられるようなクラブでありたいです。私が最後に伝えたいことは、「体操しかしてこなかったから…」というような人間になるのではなく、「体操であれだけのことをやってきたんだから何でもできる」と言える人間になって



体操競技部監督 梅本英貴先生

けがやさまざまな逆境の中這い上がってオリンピック代表を勝ち取ったので、それは嬉しかったのですが、北園君なら高校3年生でオリンピックに出場できたのではないかと思います。戦績もロシアにたった0.1点差で敗れて銀メダルとなり、悔しい気持ちが残ったオリンピックだった感じです。

——以前は練習場所がプレハブ校舎と、円形校舎にあったようですが、今の練習環境はどうか。

梅本 前の体育館では無茶な練習や技の習得段階を飛ばさないといけなかった。ルールも器具も全く変わり、以前の状態だと子どもたちのけが増えていたと思います。適切な器具がなければ段階を追って練習できないので、現在のような施設が出来て本当に助かっています。北園君が中学1年生の冬に来たので、いいタイミングでした。これほど充実した器具を置いた高校は少ないでしょう。床練習するために必要なトランポリンも、これだけ長いものは特別です。跳馬は3基あり、着地の高さが違います。けが予防のため、段階を踏んで練習するためです。一番変わった点はこの跳馬でしょうか。

もりたい。「人間力なくして技術の向上なし」という言葉がありますが、世界を目指するには応援される選手にならなければいけません。常々生徒たちに考えさせています。上手な選手はいっぱいいますが、強い選手は限られています。最終的に大きな夢にたどり着くのが一番大きな目標です。



充実した器具設備を見学する山田広報委員長（左）

## - Information -

清風岩峯会の活動は公式HPまたは各種SNSで発信しています。



清風岩峯会公式 LINE

イベントのお知らせや公式HP更新情報など様々な情報をいち早くお届けします！



Facebook

イベントの様子などを詳しくお届けします！  
@seifu.tohokai



Instagram

イベントの様子など、写真を中心にアップ！  
@seifutohokai